

森のおくりもの12月



ミヤマホオジロ（ホオジロ科）



2017年も残りあとわずかになりました。この頃は、月日のたつのが早くなってきたような感じがします。時間は無限にあるようで、気にも止めていなかった頃が懐かしくなります。そう考えながら生き物たちの暮らしをのぞいてみると、愛しさが増すというか、今までとは違った感覚がわいてきます。明るくなった雑木林では、観察路に木の葉が積もっており、自分の足音をいつもより意識させられます。そして生き物たちの声や音に耳を傾けるのによい季節になります。

【写真・文 早坂 徹】

## もぐらないモグラの仲間 ジネズミ



11月の中ごろ、ヨシの湿地で6センチ程の小さなかわいい動物が死んでいました。鼻が長くて尖っていたのでトガリネズミの仲間だと思い、持ち帰って館長に見てもらいましたら**ジネズミ**とのこと。

あまり見る機会は少ない動物ですが、観察の森に棲む動物として今回紹介したいと思います。

ジネズミは名前に「ネズミ」と付きますが、ヒミズと同じ**モグラ**の仲間です。

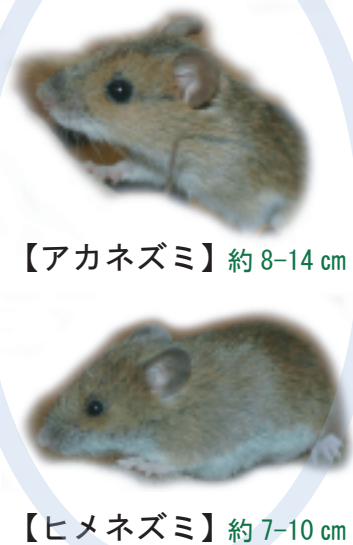
### 比べてみよう

■ネズミと比べると、目が小さく、鼻が長いことが分かります。

#### 食虫目



#### げっ歯目



また、モグラやヒミズは穴を掘り、地中で生活しますが、ジネズミは地表で生活します。春～秋にかけて子供を産みます。その頃に見られるというキャラバン行動（先頭の子供が親の尻尾をくわえ、次の子が先頭の子の尻尾をくわえ、一列に連なって移動する行動）を、一度でいいから見てみたいと願ってやみません。

【レンジャー：黒川周子】

# 12月の生物ごよみ

12月からセンター裏庭にバードテーブルを設置します。研修室からのんびり観察できますので是非お越してください。12月のバードテーブルにやってくる野鳥はヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、スズメ、キジバトなどの留鳥が中心になります。今年は冬鳥の情報が少なく、毎年10月中ごろにはやってくる『ジョウビタキ』も11月22日に初めて確認されました。その他の冬鳥も巡回中にアオジやウソの確認情報が数回あるだけであまり多くないようです。近隣を毎日観察している野鳥愛好家の方々も『今年は野鳥が少ないねえ〜』という話ばかりでした。

そんな中でうれしい情報もあります。毎年、早春に咲くマンサクがどの枝にもたくさんの花芽をつけていました。今年はいつもの年より花が少なかったので来年は大きな期待が持てそうです。



ジョウビタキのオス

## バードテーブルにやってくる野鳥たち

ほかにも  
いろいろな野鳥たちが  
集まってきますよ！

### ヤマガラ



14cm

オレンジ色のお腹が特徴。ヒマワリを両足ではさみ、くちば割って食べる。

### シジュウカラ



15cm/ 留鳥

胸の黒い筋が特徴。オスはメスより太い。ヒマワリを食べる。

### ヒヨドリ



28cm/ 漂鳥  
留鳥

バードテーブルを占領し、他の鳥を追い払うこともある。

### スズメ



14cm/ 留鳥

集団でやってきてヒエ・アワなどを食べに来る。ヒマワリの餌代にも来るがうまく食べることが出来ない。

### キジバト



33cm/ 留鳥

別名ヤマバト。餌代に上ることはほとんどなく、地面でニワトリのエサなどをついばむ。

### アオジ



16cm/ 留鳥

ドテーブルにはず、地面にまいエサをついばんで食べる。数匹でやってくる。

【レンジャー：齋 正宏】

- ※漂鳥 暑さや寒さを避けるため夏は山地、冬は平地というように繁殖地と越冬地を区別して日本国内を季節移動する鳥。
- ※留鳥 年間を通して同じ場所に生息し、季節による移動をしないもの。
- ※冬鳥 越冬のために日本より北の国から渡ってきて、冬を日本で過ごし、冬が終わると再び繁殖のために北の国に渡って行く鳥。



## レンジャーの森の雑記帳



園内のトンボの沢で、ふと上を見上げると冬の蒼い空がきれいに広がっていた。キャラメルのような甘い匂いを漂わせていたカツラの葉もすでに散り空の面積が大きくなって、いつものトンボの沢より少しだけ空間が広がったような感覚すら覚える。樹々の上で鳥達が時折り小さな声で鳴いてくれるが、耳を澄ませば変わらない笹川の水音だけの静かな世界に浸ることができた。冬の乾いた冷たい風がびゅうとひと吹きすると繊細な木々の枝が揺れて真っ白な雲を背景にきれいなコントラストを見せてくれたり、太白山の麓の鬱蒼とした黒い杉林が風でザワザワと音を立て、木立の中から木が擦れ合う軋んだ鳴き声のような音も聴こえてくる。本格的な冬が到来すると身が引き締まるような気持ちになるが、その分、寒さを避けて陽だまりを見つけたりすると、太陽の有難味をすんなりと感じる年齢になってしまった自分がいた。皆様がおすこやかに新年をお迎えになられますよう、お祈り申し上げます。

【レンジャー：阿部正明】



季節を感じて楽しむ

## 森の七十二候

第9回



初雪が降る頃になると、  
ドングリを沢山食べたクマは「冬ごもり」を始めます。木の洞や根上りした隙間、地面に掘った穴や岩の窪みなどの中で、体温を32度と少し下げ、春までじっと寝て過ごします。（※動物の中には外気温と同じぐらいまで体温を下げ、いわゆる「冬眠」するものもいます。）その間何も飲まず食わずでいるのですが、妊娠しているメスはなんと冬ごもりの間に**赤ちゃんを産みます**。

春になって目覚めたクマの体重は、冬ごもり前に比べるとおよそ3/4までに減っているそうです。

「冬ごもり」から目覚めるのは4月頃。約4カ月間の長い眠りの始まりです。

熊

蟄

穴

くまあな  
ま  
あ  
な  
に  
こ  
も  
る

12月12日から  
16日ごろ

観察の森で毎日巡回しているレンジャーがクマに会ったことはありません。園内に設置しているセンサーカメラにも映っていたことはありません。しかし、年に数回程度、太白山付近でクマを見たという情報はあります。クマは観察の森に住んでいるというより、ときどき立ち寄る感です。

先月東北歴史博物館で開催されている「熊と狼」の特別展に行ってきました。クマは現在害獣として扱われていますが、昔は**山の神からの授かりもの**としてマタギ（猟師）が獲り、毛皮と熊の胆（胆嚢）は生活に利用してきたそうです。クマの牙がついた数珠の展示もあり、正しく「**神のつかい**」だったのでしょ。これからもクマを大切にしていきたいと思いました。

【レンジャー：遠藤和子】

ツキノワグマ





# のイベント & お知らせ



## ◆おはよう野鳥かんさつ

・講師の案内で、冬の森に暮らす野鳥の声と姿を探しませんか？

【日 時】12月9日(土) 7:00~8:30

【定 員】なし【持ち物】歩きやすい服装、観察用具

【申込み】不要(直接センター前へお越し下さい。)

☆双眼鏡の無料貸出あり!  
※ご本人様を確認できる書類  
(免許証など)を確認させていただきます。

## ◆クリスマスオーナメントをつくろう

・松ぼっくりや木の実などを使い、すてきなクリスマスの飾りを作ります。

【日 時】12月16日(土) 13:30~15:30

【定 員】15名〔先着制 電話受付〕

【費用】100円(材料費)

【持ち物】動きやすい服装、ビニール袋、飲み物、雨具

【申込み】12月6日(水) 午前9時から電話で



## ◆12月から野鳥のレストランをOPEN!

・12月1日(金)から野鳥のための餌台を設置します。  
あたたかい部屋の中からゆっくり野鳥観察しませんか？

## ◆12月~3月のガイドウォークは午前のみの開催になります。

・開催時間: 10:00~11:30 お間違いのないようお越し下さい。

毎週  
日曜は

### 『ガイドウォーク』の日!

テーマ: 落ち葉を踏みしめて

12月の開催日は

3日、10日、17日、24日です。

※24日は「館長と森を歩こう」になります。

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



### 森のちいさな アトリエ

準備してある材料を使って、  
誰でも自由にクラフトが作れます。

今月は  
祝箸袋



### 12月の休館日

4日、11日、18日、  
25日

【年末年始】

28日(木)から  
1月4日(木)  
まで休館します。

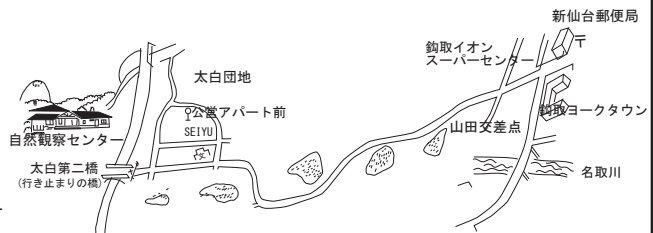
♪森へおいでください♪

### 宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 7番のりば 乗車時間 約40分
  - ② 長町駅東口 3番のりば 乗車時間 約30分
  - ③ 八木山動物公園駅 6番のりば 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白団地経由山田自由ヶ丘車庫行」乗車  
(※③のみ乗車可「太白団地 山田自由ヶ丘経由山田自由ヶ丘南ニュータウン行」)  
いずれも 公営アパート前 下車→ 徒歩15分

### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」  
バックナンバーはWebでチェック!

2017年12月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

「杜のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

E-mail: [taihakusan\\_moushikomi@sendai-green-association.jp](mailto:taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp)